

1. 豊川市男女共同参画推進条例についてのパブリックコメント

- ・豊川共生ネットみらいのパブリックコメント 11/30 提出 別紙
- ・豊川市の回答 (12月16日豊川市ホームページ) 別紙(青)
- ・豊川市パブリックコメントの手続き 別紙(緑)

2. 条例制定までとあと

豊川市 12月19日 男女共同参画懇話会 → 議会



豊川共生ネットみらい

- ・条例制定記念事業 5月総会時
豊川市との協働事業として
- ・条例制定市町との交流
- ・男女共同参画に関する事業のすべてに“条例制定記念事業”の冠をつける。
- ・市民討論会
参考：左記・朝日新聞 2008/10/31
- ・公演ニュースペーパー 100万～70万
- ・その他

3. 介護保険制度

第19回例会 まとめ

介護保険制度の現状を学び、市民に広げる。

【利用者の目線に立った利用者契約にならないのはどうしてか？】

【介護のあり方？ 利用者が声をあげる場がほしい 利用者ネットワーク】

利用者ネットワークづくりのために、豊川共生ネットみらいは、男女共同参画社会づくりの視点でコーディネートする。

参考資料：豊川市『安心のてびき～高齢者福祉パンフレット』

- ・豊川市財政から見た、介護施策

豊川市の財政状況(広報12/1号)

別紙

平成19年度豊川市介護保険特別会計歳入歳出決算事項別明細書

別紙(A3)

- ・学習カリキュラム

4. 学習資料配布

- 『裁判員制度・女性の冷たい』 中日新聞 2008/11/27
 『女性の力を生かす大学に』 朝日新聞社説 2008/10/21

別紙
 下記

学術研究

女性の力を生かす大学に

「大学の女性研究者を増やすために真剣に努力します」
 東京大や京都大など国立の主要7大学の学長が先月末、男女共同参画をテーマにしたシンポジウムに顔をそろえ、こう宣言した。

共同宣言は「公正な評価に基づく女性研究者の積極的登用」に知恵を絞るという。学長たちのリーダーシップで、思い切って進めてほしい。

研究者のうち女性が占める割合は日本では12・4%。先進国の中で際だつて低い。たとえば米国は34%、英国は26%である。

独創的な発想が大切な学術研究の場には、多様な個性が欠かせない。とりわけ人口が減る時代、天の半分を支える女性の力を生かさない手はない。

女性の活躍が期待されているのにまだまた少なく、重点的に増やすことが必要な分野として、内閣府は今春、公務員、医師と並んで研究者を挙げた。

先週施行された研究開発力強化法も、女性の力を生かすことをうたう。実は、女性比率で全国平均を下回るのが国立の主要大学だ。共同宣言は現状への反省があつてのことだろう。

具体的な対策も、少しずつ始まっはいる。

名古屋大は04年、「業績が同等なら女性を積極的に採用する」という方針を掲げた。教授や准教授への女性の応募が増える傾向があるといい、女性比率も11・7%で、7大学中トップだ。

北海道大が06年から始めた制度では、女性を採用したら、その人件費の4分の1を大学本部が学部補助する。能力が同じなら女性を採用した方が得になる、というわけだ。

文部科学省も来年度から大学や研究機関に、女性研究者を採用することに600万円を支給する。

一方で、女性が研究を続けていくために、育児や介護など家庭生活との

両立をしやすいように、出産・育児による中断が不利にならない復帰できる仕組みも大切だ。

文科省は06年から、保育所をつくらり研究の補助者をつけたりする女性研究者支援モデル育成事業を、私大を含む全国の大学で始めている。

お茶の水女子大は、5時以降は公的な会議をしない、というユニークな原則を決めた。

よい仕組みは全国に広げてほしい。環境を整えば、採用する側も安心して女性を選べるようになるだろう。

学部別、あるいは教授などポスト別に、女性割合のデータもぜひ公表してほしい。努力の結果も見えてくる。

女性にとって働きやすい職場は、男性にとっても働きやすいはずだ。そんな環境であつてこそ、次代を担う若者を引きつけることができる。7大学の共同宣言を機に、女性が活躍できる場をもっと広げていきたい。

両立をしやすいように、出産・育児による中断が不利にならない復帰できる仕組みも大切だ。

文科省は06年から、保育所をつくらり研究の補助者をつけたりする女性研究者支援モデル育成事業を、私大を含む全国の大学で始めている。

お茶の水女子大は、5時以降は公的な会議をしない、というユニークな原則を決めた。

よい仕組みは全国に広げてほしい。環境を整えば、採用する側も安心して女性を選べるようになるだろう。

学部別、あるいは教授などポスト別に、女性割合のデータもぜひ公表してほしい。努力の結果も見えてくる。

女性にとっても働きやすい職場は、男性にとっても働きやすいはずだ。そんな環境であつてこそ、次代を担う若者を引きつけることができる。7大学の共同宣言を機に、女性が活躍できる場をもっと広げていきたい。

ウィルあいちニュースNo. 26

5. お知らせ (各ちらし配布)

『伝え方講座』 H21/1/28 (水) 10:00~15:00 ウィズ豊川 定員40名 (無料・昼食持参)
 午前: 講義『物事の上手な伝え方』 午後: 演習『伝えてみよう! あなたのメッセージ』

第6回あつみ NPOの集い H21/2/1(日)10:00~16:00 渥美文化会館
 午前: 活動紹介・発表
 基調講演 13:30~15:00 『つながる~そしてともに育つ社会へ』 講師: 早瀬昇

第22回豊橋男女共生フェスティバル H21/1/18(日)10:00~15:30 ライフポート豊橋
 講演会 10:30~12:00 『人が人として生きる、認め合う心』 講師: 田嶋陽子
 午後分科会 *ワークライフバランス *大塚鎭子の歌う“法律”
 *子どもを守る~心と体の健康プログラム~』

蒲郡男女いきいきフォーラム2009 H21/2/1(日)12:30~ 蒲郡市民会館
 *チェリッシュのトークとコンサート・*川柳落語公演 駒久家南朝

6. 次回

第21回条例学習会
 日時: 1月22日(木) 注意: 第4木曜日です。 場所: ウィズ豊川